資料５



地域の明るい未来フォーラム in 東南村山

地域の明るい未来に向けた山辺町の取組みについて

山辺町長
安達 春彦

令和8年11月19日(木)

１．山辺町の将来ビジョン①

みんながつながる　協働のまち　やまのべ（第5次山辺町総合計画）

山辺町が大切にしていきたいこと…

１　子育てと元気のまち

　すべての子どもたちが健やかに育つまち。大人になる頃には更に自慢のできる山辺町に。次の世代に軸足を置き、世代を超え関わり合い次の世代へつなげる。



２　こだわりの「ものづくり」のまち

　脈々と受け継がれてきたこだわりのものづくり気質を守り、そこに新たな息吹を吹き込み、自信を持って内外に発信していく。



３　協働と安全安心のまち

　地域コミュニティの推進は安全な取組みの一翼を担う。日頃からつながりのあるまちを形成し、安全対策の精度を高め実効性のある取り組みを行っていく。



1．山辺町の将来ビジョン②

“ずっと住み続けたいまち”をめざして（第3期やまのべ総合戦略）



大方針...

1　子どもと育つまち

　ベッドタウンとしての特性により子育て世帯が転入してきている。子どもを育てる家族を応援することで「子育てしやすいまち」として“選ばれるまち”を目指す。まちは、これから生まれ育つ子どもが中心につくりあげていくもの。まちに愛着をもち、まちを作り上げる力をもつ子どもを育て、「子どもとともに育つ」という点を大切にしていく。



2　高品質でまちづくり

　ニットや緞通、農産物においても優れた技術を有し高品質な産品を生産している。町民による主体的な文化活動、教育環境、専門性の高い人材輩出を担う高校など、産業面以外でも質の高さを有している。これらの特性を踏まえ、高品質な産品の生産強化と「質」の周知に努め、地域の活性化につなげていく。

2．重要プロジェクト・主要な施策

※第5次総合計画の6つの施策大綱に基づく

1．一人ひとりの充実した暮らしを育むまち

社会減対策

・子育て応援金

３歳未満児のいる世帯へ応援金を給付し経済的負担軽減



社会減対策

・シニアライフカード事業

70歳以上の高齢者などに温泉入浴料、デマンドバス利用料の割引用カードを交付



社会減対策

・屋内遊戯施設整備

廃校舎内に遊戯施設を整備し子育て支援センターを拡充



・町民プール、ｳｫｰﾀｰｽﾗｲﾀﾞｰ改築

都市公園内の町民プールを改築、魅力化で交流人口拡大



2．重要プロジェクト・主要な施策

※第5次総合計画の6つの施策大綱に基づく

2．学び合う文化が息づくまち

社会減対策

・小中学校将来構想、給食費無償化

学校再編による教育環境整備と教育関係費の経済的負担軽減



・安達峰一郎生家屋根改修工事

安達博士生家を補修し地域の魅力向上から交流人口拡大へ



・友好都市茨城県日立市との地域間交流

産業、経済交流や青少年交流などの事業継続と拡大



・山辺高校魅力化への連携

専門性の高い県立高校の魅力化へ地域おこし協力隊などで支援



2．重要プロジェクト・主要な施策

※第5次総合計画の6つの施策大綱に基づく

3．安全で安心して暮らせるまち

社会減対策

・ 移住・定住促進

ｼﾃｨｰﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝｻｲﾄで住環境支援などを一元的に周知

社会減対策

・ 学生等とのつながりによる地域定着促進事業

町ゆかりの学生へ特産品を送付し町からの情報を発信しつながりを確保



社会減対策

・ 買い物支援サービス

中山間地での郵便事業者などとの連携による買い物支援サービス



・ドクターヘリ支援事業

ドクターヘリと地元消防団の連携による救急体制強化



2．重要プロジェクト・主要な施策

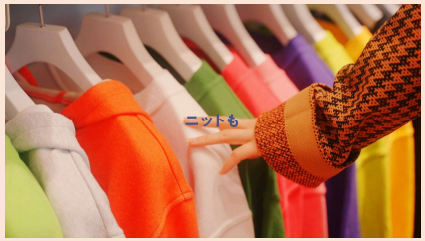
※第5次総合計画の6つの施策大綱に基づく

4．活発な産業活動を推進するまち

社会減対策

・創業スタートアップ、高品質なものづくり支援

新たな事業者の創業を後押し。ものづくりの町として工業の成長支援



社会減対策

・ｼﾃｨﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ推進

CM、ラジオ番組、SNS運用など効果的な情報発信



・イベント拡充による賑わい創出と交流人口拡大

産業、商店街、観光振興イベントに加え新規の賑わい創出イベントを開催



・ふるさと納税返礼品開発支援

事業者の収入確保と販路拡大支援



2．重要プロジェクト・主要な施策

※第5次総合計画の6つの施策大綱に基づく

5．人と自然が共生する資源循環型のまち

・ **公式LINE、ごみ分別アプリによる資源化、減量化、リサイクルの推進**

紙ベースに加え分別ルールを電子化し普及促進



・ **ゼロカーボンシティ宣言**

再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰや省ｴﾈﾙｷﾞｰの推進。太陽光発電装置への補助。今後、省エネ家電買替補助などへの展開を検討



・ **棚田、湖沼群、湧水の保全**

大蕨の棚田ではﾌﾟﾛｽﾎﾟｰﾂﾁｰﾑ、町内外高校生、山形交響楽団と連携し活動



2．重要プロジェクト・主要な施策

※第5次総合計画の6つの施策大綱に基づく

6．実効性のある行財政の推進

・ふるさと納税寄付額増による歳入確保

事業者支援を入り口として各種事業の財源となる歳入を確保



・町職員地域担当制に基づく協働による自治組織活動支援

地域自治組織に対する助言を町職員が行う協働によるコミュニティ支援



・災害時相互応援協定

友好都市や県内外自治体との協定締結による防災体制強化



・住民票、戸籍等コンビニ交付サービス

住民票、税証明などから戸籍までの一体的な交付サービス



3．今後の展望①

現状と課題は…（第3期やまのべ総合戦略）

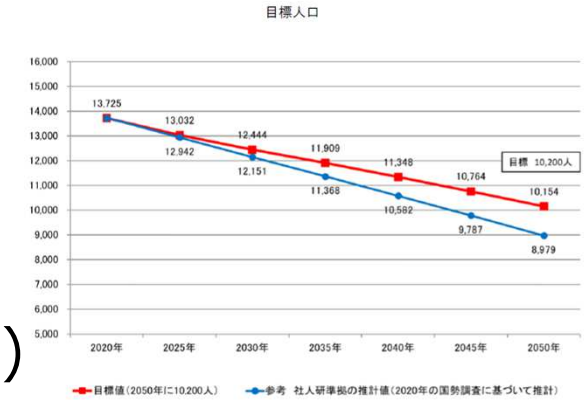
○人口減少傾向が継続

○就職等の転出、住宅購入等の転入が多い

○出生率が低く自然増減が伸びにくい

◎現在人口　12,883人（R7国勢調査）

◎2050年推計人口　8,979人（社人研推計準拠）



将来の方向・展望（第3期やまのべ総合戦略）

○若い世帯が多いうちに可能な範囲で出生率向上へ取組む

○進学・就職などで一度転出しても戻ってきやすい環境を整える

○良好な住環境と地域特性を活かし新規転入の増加などを図る

◎2050年目標人口　10,200人を目指す

3．今後の展望②

総合計画と総合戦略の取組みで**“ずっと住み続けたいまち”**へ

総合計画

1 子育てと元気のまち
2 こだわりの「ものづくり」のまち
3 協働と安全安心のまち

総合戦略

1 子どもと育つまち

- 安心して子育てできるまち
- まちをつくりあげる力を持つ子どもを育む
- 恵まれた環境で子育てしたい人が移り住む
- まちを巣立った人が再び戻るまち

2 高品質でまちづくり

- 将来を支える子ども世代への投資
- 資源や技術を幅広く活用する町外への展開
- 高い技術と県都近郊のメリットを生かす
- 良質な地域資源を味わう人の流れの創出

総合計画実施計画により、次の取組みを重点的に検討していく重要事業と位置づけている。

- 子育て支援センターの設備充実
- 町民総合体育館などの中央公園内スポーツ施設整備
- 小中学校将来構想による小学校再編
- 住宅新築支援、リフォーム支援による定住支援
- 体験型観光による観光推進と魅力発信
- ゼロカーボンシティの推進
- DX推進



結び

現在、山辺町の未来に向けて、第６次山辺町総合計画の策定を、総合戦略とあわせた形で取り組んでいる。

町民
- ○ 町民アンケート
- ○ 町民ワークショップ
- ○ 町民との懇談会　など

行政
- ○ 職員アンケート
- ○ 職員ワークショップ
- ○ 職員委員会　など

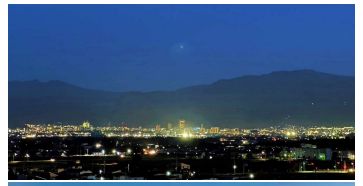
町長ﾄｯﾌﾟ
ｲﾝﾀﾋﾞｭｰ

第６次山辺町総合計画（令和10年度～）
町民・職員に分かりやすく親しみやすい “次代の将来ビジョン”策定





“選ばれる、ずっと住み続けたいまち”へ
山形県と県内市町村の連携により
地域の明るい未来の実現に向けて
人口減少対策など各種施策に取組んでいく






Yamanobe town